




第1学年 国語科「登場人物の行動を想像して劇で表そう ～『とんこととん』～」  
 学習指導者 尼子 智悠 支援員 二宮 奈海

<p>主張点          (スタートカリキュラムを踏まえて)</p>	<p>劇はほとんどの子供が幼児期に体験しており、体を動かすことを好む子供が多いという実態や、「読むこと」の工を指導するという点から、劇をするという言語活動を設定することで、子供たちが意欲的に活動に取り組めると考えました。</p>
<p>前時までの学び</p>	<p>子供たちは、劇で登場人物の行動を表すために、ねずみ役ともぐら役のペアをつくって、どのように動けば、物語の様子を具体的に表せるか、表情、話し方、動き方といった視点で叙述を基に話し合い、行動を考えていきました。</p>
<p>〈課題設定以前〉          1 学習課題を確認する。</p>	<p>できたねボード(補助黒板)を使って、前時までにできたことや、本時にしようと考えていたことを確認し、本時の学習課題を設定しました。</p> <div data-bbox="448 745 705 904">  </div> <div data-bbox="746 745 1401 896"> <p>前の時間は、ペアでどのように動けばよいかを考えました。今日は、友達に見てもらって、もっとお話にあった動きにしたいです。</p> </div>
<p>学習課題：試しの劇をして友達に見てもらおう</p>	
<p>〈課題解決中〉          2 教師が演じた劇について、よかったところや改善点を話し合う。          3 自分たちの劇の動きについて、グループをつくり他のペアの友達と話し合う。</p>	<p>まずは、教師が演じた劇について、よかったところや改善点を話し合いました。『おかしいな。なんだろう』というねずみの言葉について、「不思議そうな表情や話し方をしていたところがよかった」「その時に、もぐらは下でたがた動いている方がよい」などと、よりお話にあった行動について教師とやりとりしながら考えました。そして、その流れをイメージしながら、演じる人、よさを見つける人、ナレーターに分かれて、試しの劇を行い、お互いに動きのよさや、改善点を伝え合っていました。</p> <div data-bbox="448 1317 746 1467"> <p>「よろしくね」というところで握手したところがよかったよ。</p> </div> <div data-bbox="774 1272 1040 1489">  </div> <div data-bbox="1040 1332 1412 1482"> <p>ありがとう。ほめてくれてうれしいな。発表会の時も同じように動くようにしましょう。</p> </div>
<p>〈課題解決後〉          4 本時の学びを振り返る。</p>	<div data-bbox="422 1505 683 1675">  </div> <div data-bbox="705 1541 1401 1657"> <p>動きが上手って友達がほめてくれたからうれしかったよ。「できた」に○を付けよう。</p> </div> <p>できたかなカードを使って、自分が、ねずみやもぐらになりきって劇ができていたかどうかを「できた」「少しできた」「あまりできなかったから次は頑張りたい」のいずれかに○を付けて振り返りました。また、本時学習したことから、まだ、もう少し練習したいという意見が出され、次時は、もう少し練習してから、発表会をしようという課題を子供たちと設定しました。</p>
<p>考察</p>	<p>どのような視点で友達にアドバイスすればよいか迷っている子供もいたので、表情、話し方、動き方という視点が分かるようなカード等を用意すれば、もっと互いのよさや改善点が表出できたのではないかと考えました。</p>